第　58　号
発　行　所　〒157－8560
東京都世田谷区成城 1－13－1
東京都市大学付属中学校･高等学校内
電話　03－3415－0104
発行責任者　安　藤　友　二
編集責任者　清　水　　茂

# 柏

東京都市大学付属中･高等学校〈同窓会ホームページ〉
**http://tcu-kasiwa.org/**
今までは、本校卒業生の皆様との唯一の連絡媒体として当会報「柏」の発行（年２回）をしていましたが、これからは HP からのご案内並びに通信となりますので会員登録を必ずお願いいたします。

## 2013 年度キャリアスタディを終えて

副会長 / キャリアスタディ委員長　青木　良雅 (12 期生 )

2014.1.25.アルママタホールにてキャリアスタディ2013発表会が行われ、無事キャリアスタディ2013を終える事が出来る予定でした。しかし、文末に記した理由により“発表会”自体が延期となり、原稿の修正を余儀なくされました。ご了承下さい。

さて、例年の如くコーディネーターへの事前説明会、「業あり先生」、マナー講座・直前集会、企業研修、柏苑祭、キャリアスタディ2013発表会が全体としての流れになります。

コーディネーターへの事前説明会は、新規コーディネーターとコーディネーター間の意思の統一・レベルアップを図る事を目的として実施、効果を挙げてきています。新規コーディネーターは説明会出席を必須としています。2013新規の広瀬さん、福田さんにも参加していただきました。

マナー講座・直前集会は、Keyコーディネーター毎のグループ分後、各教室でマナー講座実施、直前集会を実施しています。この時、生徒とコーディネーターが顔を合わせることになります。研修当日に顔を合わせるのでは遅いという反省から来ています。業あり先生ですが『柏』57号でキャリアスタディの一環としての“業あり先生”に関して、として触れていますので講師と講義名だけにとどめます。

1．大岩　湛矣 (ｵｵｲﾜ　ｷﾖｼ) #5　株式会社トムス代表取締役　「スポーツの事業化について」
2．吉目木晴彦 (ﾖｼﾒｷ　ﾊﾙﾋｺ) #23　コニカミノルタ株式会社　R&D　マーケティンググループ　マネージャー　「企業が追い求める社会的価値」
3．古田　貴也 (ﾌﾙﾀ　ﾀｶﾅﾘ)　株式会社エグゼック 代表取締役社長　「自分で会社を作るってどんなこと？」
4．鈴木威一 (ｽｽﾞｷ　ﾀｹｲﾁ) #　早稲田大学大学大学院理工学術院経営デザイン専攻講師兼プログラムディレクター　「思いがけず人気のある大学教員になって」
5．那須　忠源 (ﾅｽ　ﾀﾀﾞﾓﾄ)　学校法人大原学園専門学校　司法書士「法律系キャリアガイダンス」
6．青木　悠祐 (ｱｵｷ　ﾕｳｽｹ)　沼津工業高等専門学校　電子制御工学科　助教　「人を救う医療ロボットを作る～ものづくりに大切なこと～」
7．遠藤　敦 (ｴﾝﾄﾞｳ　ｱﾂｼ)　株式会社アトラク　代表取締役社長　「新しい薬剤師のカタチ、スポーツファーマシスト」
8．坂田　奈央美 (ｻｶﾀ　ﾅｵﾐ)　トミーデジタルバイオロジー株式会社 テクニカルサポート　「世界とつながる !? 研究者とつながる !? 商社のお仕事」
9．谷田　充明 (ﾔﾀ　ﾐﾁｱｷ)　協和監査法人　公認会計士　「“企業のお医者さん”公認会計士の仕事」
10．田坂　陽一 (ﾀｻｶ　ﾖｳｲﾁ)　オリックス株式会社 財務本部　財務部　証券化管理チーム長 「資金調達のお話　証券化を中心に」

8月の夏休みいよいよ企業研修の月です。2013年は、22名のコーディネーターのお世話になり28の企業、計38回の研修でした。実施順には、国土交通省（小林英世）、桂測量設計（朝岡道久）、博報堂（梅田博夫）、ハイパーサイクルシステムズ（阿部俊夫）、東急電鉄（渋沢重彦）、エグゼック（鈴木威一）、セコム（安藤友二）、凸版印刷（矢吹啓）、富士通（長倉明彦）、独法労働安全衛生総合研究所（佐々木幹夫）、日産工機（福田光秋）、大成建設白子川地下調節池（青木良雅）、ホームストア（広瀬由和）、はせべ歯科（長谷部伸一）、キャロッセ（小泉達雄）、睦化工（阿部俊夫）、古田土公認会計士・税理事務所（矢﨑克実）、アスベックメディカルデンタルクリニック（立野慶）、社会福祉法人古木会（今井章久）、凸版印刷（佐々木幹夫）、NIPPO（矢﨑克実）、日東エンジニアリング（阿部俊夫）、アマノマネジメントシステムサービス（梅田博

夫)、東急建設技術研究所（渋沢重彦)、アマノ武蔵電機（梅田博夫)、大成建設西谷トンネル（青木良雅)、三栄レギュレーター（青木良雅)、トムス（大岩湛矣)、関東電設（宮原茂)、富士重工業（佐々木幹夫)、メトロ文化財団地下鉄博物館（清水茂）の順になります。関係いただいた方々ご協力ありがとうございました。

〈2014年1月25日の2013年度キャリアスタディ発表会が、中学二年にインフルエンザ、ノロウィルスが流行ったため中止になりました。発表会の様子は機会がありましたら別途対応いたします。〉

## 新規コーディネーターのお願い

現在のキャリアスタディの形も5年が経ちました。目下そして今後の課題としては、新規コーディネーターの発掘・確保・若返りが必須です。会員の方々に是非、新規コーディネーターになっていただきたい。又、なっていただける方を、紹介していただきたいと思っています。

宜しくお願いします。

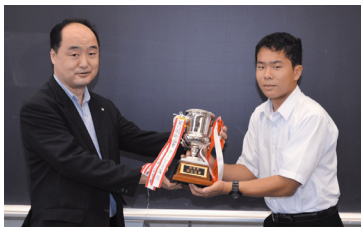
東京都市大学付属中学校・高等学校同窓会
会長　安藤友二　tcu.ando.yuji@gmail.com

# 第55回　柏苑祭報告

青木　良雅（12期生）

平成25年10月5日(土)並びに6日(日)にいつもの通り、同窓会の部屋に於いて企画として“業あり先生”（講師・古田貴也氏）と母校国語科OB山本孝哉先生に最終講義をお願いしました。古田講師には「キャリアとしての起業について」さらに山本先生には「本の美しさについて」をテーマに語っていただいた。貴重な書籍も拝見できた。

会場は「校内放送」で適宜案内していただいたこと、更にポスター等の貼り付けなど積極的な広報に、いつになくお客様が来場し、清水理事から借入れた抽象・具象の絵画芸術をBACKに展覧され盛り上りました。最終日には第5回「同窓会賞」が来場者の投票の集計によって、キャリアスタディをテーマに発表された“中3学年展示”に輝き、同窓会より「賞状」「カップ」と副賞の「盾」が授与されました。おめでとうございます。



**第56回　柏苑祭（予告）**

平成26年10月4日（土）・5日（日）の予定で開催されます。詳細は今年9月発行「柏」第59号をご覧下さい。「同窓会企画」も楽しみにお待ち下さい。是非、ご来場お待ち致します。

古田貴也講師による“業あり先生”講義風景

# 第55回「柏苑祭」での最終講義を終えて

山本　孝哉

昨年（2013年）10月6日の柏苑祭において、同窓会の企画による最終講義をやらせていただいた。

私は1967年（昭42）にムサコーに国語科の教師として奉職し、2009年（平21）に定年退職して、さらに2012年まで図書館の講師として都合45年間勤めさせていただいた。

最終講義というお話をいただいてからいったいどんな話をしたらよいか迷ったが、図書館の仕事も30年ちかくやってきたので、好きな本の話にしようと思った。

世の中、本に関して言えば、電子書籍の到来ということで、紙の本の衰亡が囁かれている。このような時であるからこそ紙の本のすばらしさを話してみようと思った。それには本の実物を見てもらい実感してもらうことが大切であると考え、持っている本を選び、①本の歴史（和本、巻子本・写本・古活字本・版本と明治以降の製版本）と②本の装丁に関しての話をしようと決めた。「本の愉しみ」と題し、レジュメをつくった。

当日、本をボストンバックに詰め込んで、重い思いをして運んだ。同窓会の役員の方が気を利かしてくれ、何回か放送で宣伝していただいたおかげで、30名前後の人に来ていただいた。話のポイントのひとつは、和本のすばらしさである。和紙でつくられた本は、1000年以上の時を経てもそのままの姿で残っている。最大の敵は紙魚という蟲くらいである。「光悦本」といったような芸術作品とも言っていい本までつくられている。

明治以降の本では、装丁にも眼をむけて欲しい。夏目漱石の本の装丁には、橋口五葉・津田青楓、白樺派の作家、志賀直哉・武者小路実篤などの本

には岸田劉生、芥川龍之介の本には小穴隆一、小林秀雄・河上徹太郎などの本には青山二郎などの優れた装丁家がおり、本に独特な味わいを醸しだしている。その他、谷中安規・恩地孝四郎・中川一政・佐野繁次郎・花森安治などすばらしい装丁家がいるが、全部は紹介仕切れなかった。本はもちろん内容が第一であるが、装丁により本がいっそう輝くというところを見てもらいたい。現代でも、田村義也・菊池信義などすばらしい装丁家がいる。

拙い話であったが、うれしかったのは卒業生で大学でブックデザインを勉強している人が話しかけてくれたり、質問をしてくれた人がいたことである。同窓会の役員の人にはお世話になりありがとうございました。よい思い出ができました。

山本先生講義風景

コラム

## 「書籍(紙の本)」と「電子書籍」

今、本の世界では電子書籍の時代に入りつつあると機器も多く出回り、ソフトも充実してきている。出版社も紙の本が売れない時でもあり、力を入れている。確かに膨大の量の本を機器に収納でき、読みたい本をすぐに取り出せる等の利便性がある。しかし、私のように紙の本を熱愛する者にとってはなんとも味気ない。書物は本独特の手触り質感があり、紙・インク・活字等が醸しだす味わいは電子書籍では得られないものである。もちろん内容が第一であるが、装丁・カバー・函・帯を含めて一冊の書物といえるのであり、著者の表そうとした世界がそのような書物という形に凝縮されているのではないだろうか。どうか書物独特のすばらしい味わいを忘れずに読書を楽しんでもらいたいものである。

(山本孝哉)

## 《公示》同窓会総会開催について

第39回総会を下記の要領にて開催いたします。同窓会会員(卒業生) はどなたもご参加お願いします。

デフレ下の増税を今年4月から施行。可処分所得が増々減るという悪循環に陥ることのない様「神に祈る」だけで良いのでしょうか。国際化(グローバリゼーション)による垣根の撤廃に伴って従来の鎖国・護送船団方式が立ち行かなくなってきた現在、経済状況・社会状況(雇用不安・倒産等)も相変らず閉塞させたままの状況下に置かれておりますが、年に一度同窓生が集まれる機会です。最新の情報を同窓生同士で交換して下さい。

記

**日　時　2014 年 5 月 23 日(金) 午後7時00 分より**

**場　所　渋谷・エクセルホテル東急　6 階　フォレストルーム**(渋谷マークシティー内)

TEL.03－5457 －0109

**議　題**　1 号議案　2013 年度(2013 年 4 月 1 日～ 2014 年 3 月 31 日) 活動報告
2 号議案　2013 年度(2013 年 4 月 1 日～ 2014 年 3 月 31 日) 決算報告
①一般会計報告　②第 38 回総会決算報告　③繰越金内訳　④会計監査報告
3 号議案　2014 年度(2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日) 活動計画
4 号議案　2014 年度(2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日) 予算案
5 号議案　その他

### 懇親会のご案内

総会終了後、同一場所において懇親会を開催いたします。週末の夜、仕事を離れ、懐かしい友とお酒を酌み交わしながらひとときを過ごしてはいかがでしょうか。多数のご参加をお待ち致します。お互いに声掛けての参加をよろしくお願いいたします。

**日　時　総会終了後(7 時 30 分開会予定)**
**場　所　総会と同じ場所**
**会　費　6,000 円(飲み・食べ放題・当日)**

**お誘い**　今後の同窓会の「総会・懇親会」の場を借りて「同期会」を開催しませんか！<ホームページにアクセスして下さい。>

# 事務局長就任挨拶＆理事会報告

事務局長　渋沢　重彦（25期）

理事会活動のご報告に先立ち、一言ご挨拶申し上げます。

本年度より同窓会事務局長を務めさせていただくことになりました第25期の渋沢でございます。

阿部俊夫前会長、安藤友二前事務局長の意志を引継ぎ、同窓会の皆様の相互の親睦・交流、在校生への支援など、さらに同窓会の活動を広げて行けるよう微力ながら鋭意努力して参りますので、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年度の理事会活動について、以下のとおりご報告致します。

理事会：第1回／平成25年4月6日　第2回／平成25年6月4日　第3回／平成25年8月6日　第4回／平成25年10月5日　第5回／平成25年12月3日　第6回／平成26年2月4日

主な議題：

- 「キャリア・スタデイ2013」の企画開催について
- 柏苑祭における「業あり先生」「退職された先生による講演」の企画開催について
- 同窓会誌「柏」の編集発刊について
- 同窓会費制度の移行について
- 同窓会入会案内について
- 2014年度総会・懇親会の企画開催について

本年度を振り返ると、8月のキャリア・スタディ2013では全28の企業および22名のコーディネータのご指導の下、それぞれ充実した企業研修を行っていただきました。研修の実りがあって、10月の柏苑祭において中学3年生のキャリア・スタディ2013に関するレポート展示が「同窓会賞」を獲得し、安藤会長より代表の中学3年D組大山晃生君へ賞状、トロフィーおよび盾が授与されました。また、古田貴也氏による講演「キャリアとしての起業について」や、退職された山本孝哉先生による講演「本の美しさについて」など、たいへん活気に満ちた柏苑祭を過ごすことができました。11月には同窓会費制度の移行および同窓会入会案内についてPTAの皆様にご説明申し上げましたところ、223名もの新規入会希望があり、同窓会の益々の拡大発展に拍車が掛けられました。

今後、理事会としても若い方々の活躍に期待し、さらなる同窓会の活性化に向けて若手同窓会員の徴募や懇談といったことについても積極的に取り組んで行きたいと考えております。

最後に、昨年度半ばに初めて同窓会事務局に携わることとなり、間もなく阿部俊夫前会長との数奇なご縁によって事務局長を拝命致しましたが、私自身は有象無象のまま早一年を過ごしました。支えてくださった前会長が昨年末にご逝去され、私自身は路傍の石といった心境で、たいへん悼みを感じております。改めて故人のご功労に感謝致すとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 『阿部前会長に捧げる鎮魂』

同窓会会長　安藤　友二（25期生）

阿部前会長は 2013 年 11 月 28 日にご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。「同窓会」での理事・会長職を 30 年程に亘って務められ、同窓会を母校のご協力の下に確固たる地位に築き上げてきた功績は多大なものと考えております。前会長が以前、会誌「柏」に記された様に「同窓会って“何”?」という事に疑問を持たれた時期があったようです。私なりに考えますと同窓会とは〝同じ学校を卒業し、世代を超え、異なる分野で活躍されている先輩・後輩が互いに交流を持つことができる貴重な組織〟であると。〝この様な組織での交流を通じて私たち仲間を育ててくれた事に感謝する。〟ということが故人の想いでもあり、故人自ずから希望した『お別れの会』という形を取ることでの皆との別れを惜しむことが望みだった事が伺われます。ダンディズムな自分の考えを最後まで貫き通した阿部前会長のご冥福をお祈りいたします。　合掌

**編集後記**　過去から現在までの同窓会の長い歴史の中に於いて、居なくてはならない人であった阿部元会長が、昨年の 11 月に 65 歳の生涯を閉じました。彼の同窓会に対する〝思い入れ〟は、卒業生の誰よりも強烈なものがありました。初期の同窓会の 2 度目の立ち上げ当時には、初代・事務局長であった第 3 期（昭和 31 年 3 月）卒業の仁戸部先輩と共に会費集めとして、渋谷の東急・関連会社に機関誌の広告集めに回ったという話を聞かされました。

一言ではお伝えすることができない程の御苦労があった事でしょう。幾度も【解散】を考えたとも話しておりました。今まで本当にお疲れ様でした。又、ここまで当同窓会を他の先輩・後輩の役員・理事等の皆様のご協力を得ながら着実に盛り上げてきていただいた事に関して本当に感謝する次第です。彼は私とは同期（第 14 期）でもあって、彼は体育会系、私はといえば全くの文科系。様々な意味で価値観は多少異なる部分も抱えていたのではとの思いもあったのでしょうが、阿部さんは誰に対しても心の通う対応によって理解を示して頂く事で、何ごともスムーズ゛に解決されて行く事ができ、良好な結果が得られたのも素晴らしい才能と努力であったと今でも思っています。慎んでご冥福をお祈りいたします。

当同窓会誌『柏』は既に第 58 号。第 53 号から A4 サイズを基本・横書きとし、4 ページ立てとリストラを敢行。然り業務報告が目立つこととなり、これらも経費の節減のため。お許しください。配送通信費 ( 年毎に卒業生が増える／ここだけ右肩上がり）の削減−ホームページへの移行 etc。ご協力に感謝いたします。　清水 茂（14 期生）